

## 税金 第1問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 所有する土地に対する固定資産税¥120,000を、現金で納付した。
2. 収入印紙¥50,000分を現金で購入し、費用処理した。
3. 決算にあたり、2.の収入印紙について¥8,000分が未使用であったため、適切な勘定に振り替えることとした。
4. 兵庫商事(株)は、中間申告を行い、法人税等¥1,500,000を、小切手を振り出して納付した。
5. 兵庫商事(株)は、決算を迎え、法人税等の金額が¥2,800,000と確定した。なお、このうち当社はすでに¥1,500,000については中間納付している。
6. 5.で計上した未払法人税等を、小切手を振り出して納付した。
7. 福岡物産(株)は、過年度の法人税等について更正を受け、還付額¥420,000が当座預金口座に振り込まれた。
8. 大分産業(株)は、過年度の法人税等について更正を受け、追徴額¥560,000を小切手を振り出して納付した。
9. 佐賀工業(株)は、定期預金(1年満期、利率3%)¥2,000,000を銀行に預け入れていたが、この定期預金が満期となり、利息¥51,000(源泉所得税15%を控除後)とともに普通預金口座に振り込まれた。
10. 当座預金口座に宮崎商事(株)の株式に対する期末配当金¥170,000(源泉所得税¥30,000を控除後)の入金があった旨の通知があった。

## 税金 第1問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	租 税 公 課	120,000	現 金	120,000
2	租 税 公 課	50,000	現 金	50,000
3	貯 蔵 品	8,000	租 税 公 課	8,000
4	仮 払 法 人 税 等	1,500,000	当 座 預 金	1,500,000
5	法人税、住民税及び事業税	2,800,000	仮 払 法 人 税 等 未 払 法 人 税 等	1,500,000 1,300,000
6	未 払 法 人 税 等	1,300,000	当 座 預 金	1,300,000
7	当 座 預 金	420,000	還 付 法 人 税 等	420,000
8	追 徴 法 人 税 等	560,000	当 座 預 金	560,000
9	普 通 預 金 仮 払 法 人 税 等	2,051,000 9,000	定 期 預 金 受 取 利 息	2,000,000 60,000
10	当 座 預 金 仮 払 法 人 税 等	170,000 30,000	受 取 配 当 金	200,000

## 【解説】

9. 受取利息； $¥2,000,000 \times 3\% = ¥60,000$ 、 仮払法人税等； $¥60,000 - ¥51,000 = ¥9,000$